

令和7年度神劇まわり舞台

劇団道化座<のいえノイエ>NO.165

モンゴルの楽器馬頭琴にまつわる民話より
少年スーホと白い馬スピカとの友情物語



ある年のことです。

スーホは、領主ハイロウが行う<たいまつ祭り>の呼び物「くらべ馬のかけっこ」に出ることになりました。

ところが、白い馬スピカの姿を見た欲深い領主ハイロウは、スピカを手に入れようと、ひきょうにも悪だくみを企てたのです。そんな悪だくみがあるとも知らず、スーホはスピカといっしょに誰よりも速く懸命に走り続けました。

